

【目黒区水害ハザードマップ】



水害ハザードマップの目的

この水害ハザードマップは、大雨による河川の氾濫（外水氾濫）と下水道からの流水による浸水（内水氾濫）を合わせて表示した、「城南地区河川流域浸水予想区域図（平成30年12月東京都作成）」に基づき、浸水する区域やその程度、避難所を示し、区民の皆さんの避難などに役立つように作成した地図になります。

「想定し得る最大規模の降雨」（総雨量690ミリメートル、時間最大雨量153ミリメートル）があった場合に、シミュレーションにより予測される浸水状況を基に作成しています。

浸水の予想される区域やその程度は、雨の降り方や土地の形態の変化、河川・下水道の整備状況、建物の構造など様々な状況によって変わることもあります。したがって、大雨が降ると必ずこの地図が示す区域に浸水があるということではありません。また、浸水の表示が無い区域でも、状況によっては浸水することもありますので、十分にご注意ください。

（注記）「ハザード」とは「危険・危険性」という意味です。

